

発電所における火災リスク低減の取り組みについて

- 発電所では、火災等のリスク低減を目的とする取り組みを継続的に実施。ハード面では非常用ディーゼル発電機の休止運用、変圧器の油抜き取りの実施、ソフト面では溶接などの火気作業を行う現場に協力企業と合同パトロールを毎月1回実施。
- それらに加えて、9月17日には、当社で勤務している元柏崎市消防署長の知見を活用し、サビが生じて電気の回路が短絡し、火災につながるリスクが高い屋外設備を中心に電気火災パトロールを実施。
- また、9月18日には、協力企業の電気保安推進者を対象に、過去の火災を踏まえた勉強会を開催。

屋外仮設分電盤のパトロールの様子



協力企業への勉強会の様子



毎月の点検は実施されているか



コンセントは確実に
はまっているか



防水型でも向きを
間違っていないか



未使用のコンセントに
キャップをしているか

※勉強会資料の抜粋